

北千住・宿場町考

児玉 寛嗣

国道4号線（日光街道）を進み千住大橋で隅田川を渡り、少し行つて右側の脇道に入った。そこは旧日光街道である。さらに数分歩くと商店街、ここは昔、千住の宿場町であった。日本橋を出てから最初の宿場であり、東海道の品川宿、甲州道の内藤新宿、中山道の板橋宿と並んで江戸四宿と呼ばれていた。

宿場町は北千住駅前通りと交叉した形で線路と平行に広がっている。駅前の商店街は最近になって開発された街となら変わりはしない。戦災に見舞われたこともあり、昔の面影を感じさせるものは江戸時代に建てられたという伝馬屋敷という建物ぐらいだ。「横山家住宅」と記された説明書きがある。

宿場町では旅人に対して馬と人足を提供することが義務付けられており、この宿場には五十頭の馬と馬の手綱をとる五十人の人足がいたそうだ。伝馬屋敷は供出する馬の厩舎を兼ねた旅人の接待所だった。裕福な紙問屋が商売の傍らこれを運営し、代わりに年貢などを免除されたという。

さらに「貫目改所跡」と書かかれた看板を目にする。そこに書いてある説明を興味深く読んだ。馬に背負わせる荷物には重量制限があり、物資の輸送用の馬の荷駄は四十貫までとなっていて、次の草加宿までの運賃も決まっていたようだ。貫目改所には重量検査のための秤が置かれていた。なかには役人に賄賂を贈って重い荷物を認めてもらう者もいたとのこと。荷物を背負わされる馬にしてみれば迷惑な話だったろう。

北千住駅であるが常磐線、東京メトロ（日比谷線、千代田線）、東武伊勢崎線、つくばエクスプレスが乗り入れており、乗り換えターミナル駅としての機能がある。乗降客数のランキングはJR東日本の中で十位だそうだ。ちなみに他の江戸四宿である（内藤）新宿は一位、品川は五位だ。今も昔と交通の要所は変わらないということかもしれない。しかし、中山道の通る板橋駅は百位以下。なぜ、板橋宿がターミナル駅とならなかったのかだが、四宿の中でここだけが色町がなかったとか、上野駅がターミナルになったとか色々な説があるようだ。